

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 事業実施の成果

令和4年度は、復興庁「心の復興」被災者支援事業補助金、宮城県自死対策強化事業補助金、WAM助成(社会福祉振興助成事業)助成金などを受け活動を行いました。

今年度も「施設訪問活動」については、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症が減少傾向にあった数ヶ月は活動ができた施設もありましたが、まだまだ本格的な活動には至っていません。その他の活動については、感染状況を鑑みながら、感染対策を講じ活動を行いました。

東日本大震災後から継続して行っている傾聴カフェは、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町の各自治会の協力を得ながら実施しました。従前から実施の音楽を取り入れた「音楽カフェ」については、感染拡大が懸念されることから実施せず、その代替として、革ブローチ・革カードケース・ちぎり絵・折り紙・フラワーアレンジメントのモノ作りを実施しました。箱庭を活用した「箱庭カフェ」も実施しました。県内各所の他、福島県南相馬市県営住宅南団地、新しく南相馬市県営住宅上町団地において実施し、より多くの方々と交流を図ることができました。

「個人宅訪問」「傾聴サロン」「電話相談」「メール相談」も実施。電話相談については、コロナ禍対応として、一昨年4月から電話回線を増設し、週6日(月曜日～土曜日)実施したことで、利用者の増大を図ることができました。

安否確認を兼ねた孤立防止策として「ふれあい電話サービス」も実施。

子育て支援事業については、今年度から仙台市の「子供相談支援センター」、仙台市内で子育て支援など行っている団体「こひつじの一む」「冒険遊び場」にボランティアを派遣し活動を行いました。

傾聴ボランティア団体「みやぎ傾聴ネットワーク」とも連携を図り交流すると共に、スキルアップ研修などに寄与しました。

人材育成面では、入門講座を仙台市で、養成講座を仙台市、岩沼市で開催。各市町村からの依頼による傾聴ボランティア養成講座、基本講座を出前し、県内各地で実施することができました。会員スキルアップ研修としては、電話相談態勢の充実を図るため、電話相談養成講座を2日間コースで開催。また、電話相談研修(基礎編パートⅡ)やリーダー研修、現任者研修など合計17回開催し、電話相談員のスキルアップと増員を図ることができました。会員フォローアップ研修は、個人宅訪問現任者研修を開催し、現状と課題についてグループで話し合い課題を共有し今後の指針に結びました。メール相談研修も2回実施。来年度以降の態勢強化に結びました。

公開講座は年2回開催。現代社会おける問題を反映した内容を、テーマ「震災から11年間子どもや保護者に耳を傾けながらアスイクの活動について」NPO法人アスイク理事長大橋雄介氏に、「自律神経を整える」を泉こころのクリニック院長高橋玄氏に、それぞれに講演頂き、一般の方及び賛助会員等大勢の参加があり好評でした。

研修部で取りまとめた会員の活動記録を各支部定例会で勉強会を行い、会員のスキルアップを図りました。

喫緊に解決しなければならない社会解決課題のために社会福祉法人宮城県共同募金が行っている支援活動「みやぎチャレンジプロジェクト」に参加し、当会活動資金調達に共同募金会と一緒に寄付の呼びかけを行いました。今年度もコロナ禍の影響により、イオン各店頭や街頭での募金活動は中止としましたが、目標額100万円は達成することができました。

広報活動として、傾聴活動の報告と啓発を含めて、会報「傾聴だより」を年3回発行しました。

生活協同組合あいコープみやぎからの委託事業を受託し、「電話相談業務」を行いました。

みやぎの女性つながりサポート型支援事業を受託し、県南地域を対象に、新型コロナウイルス感染

症拡大の影響により、不本意に退職や収入減、苦境に陥ったなど、様々な困難な課題や不安を抱える女性や女の子を重点的に支援目的とし、電話相談、対面相談、出張相談会、メール相談を行いました。また「岩沼子ども食堂プラス」「ともだちイン名取」に生理用品を配布しました。

12月全体会及びバザーを開催。全体会は、仙台南支部担当で、3つのテーマ「楽しく」「仲間と」「希望へ」を設定し、傾聴活動のDVD視聴、各支部会員からの活動の体験発表、寸劇では、南支部会員の多才なる才能を披露。会場は笑いとおちよびり悲哀を感じる場面もあり、とても充実した全体会となりました。参加者は76名。終了後、バザーを開催。バザー売上金46,678円、品物提供者は40名でした。

仙台市内で企業の経営支援業務などを展開している株式会社funakuより、当会への支援の申し入れがあり、令和5年度から寄付という形で支援していただくことになりました。

12/5一般社団法人愛知揆一福祉振興会「みやぎ社会貢献大賞」に応募して、審査委員特別賞を受賞しました。困難を抱えた方々に寄り添い丁寧に聴くという積み重ねと地域社会に貢献できる人材の育成、また子育て支援に力を入れている姿勢が高く評価されての受賞でした。

12/18ユニバーサル財団の「心のケアフォーラム」をリモートで開催され、米ミシガン在住のフォーク阿部まり子先生の講演、当会は森山代表が事例発表を行いました。

3/8、tbc東北放送ラジオに、森山代表が電話で出演。当会活動を紹介しました。

3/24、河北新報「持論時論」に、森山代表の投稿文が掲載されました。

今年度も長引くコロナ禍において、模索しながらの活動でした。電話相談は利用者の増大による態勢強化を図ることを目標に、電話相談員の人材育成に力を入れてきました。その結果、相談員の増員を図ることができたことは、評価できると考えます。また、各支部定例会において、各施設等へ「暑中見舞いのはがき」「年賀はがき」等作成しお渡ししました。施設からは御礼や喜びのメールが届き、励みとなりました。

今年度も社会福祉の増進に寄与することを目標に、地域住民の心に寄り添い傾聴活動を推進しました。

※その他助成金先 ・日本郵便年賀寄付金配分金・みやぎの女性つながりサポート型支援事業補助金
・みやぎチャレンジプロジェクト配分金・生活協同組合あいコープみやぎ助成金